

令和6年度 対話鑑賞ファシリテーター養成研修&登録について

2024年6月3日更新

鳥取県立美術館
ウェブサイトは
こちら→



年間で
全5回
の研修を予定
しています

- ◆令和7年度から、県立美術館で対話型鑑賞のファシリテーターとして活動していただくために、令和5年度と6年度の2年間で準備期間として、同じ内容の研修を2回行います。(今回は、令和6年度の予定のみをご紹介します。)
- ◆現在ファシリテーターに登録されている方は、2年間で1～5の研修を受講してください。
- ◆原則として、全ての研修を受講された方に、美術館開館後に対話型鑑賞のファシリテーターをしていただきます。

information

下表のとおり、令和6年度の研修は、令和7年度に対話型鑑賞のファシリテーターとして活動を継続していただける方を対象として行います。

研修内容

研修項目は令和5年度と同じですが、講師や研修内容が異なる場合があります。すでに受講済みの研修にも、ぜひご参加ください。

1 オリエンテーション 美術館について知ろう ・美術館の役割について ・美術館館内見学 ・ファシリテーター養成講座の進め方について 日時：令和6年4月21日(日) 午後1時～3時 会場：鳥取県立美術館 ホール	2 作品を鑑賞するとは 講師：神野真吾氏(千葉大学准教授) なぜアートと出会うことが重要なのか ～鑑賞を通して学ぶ21世紀を生き延びるための技能～ 作品の鑑賞について理解を深めます 日時：令和6年5月11日(土) 午後2時～4時 会場：鳥取県立博物館 講堂	3 対話型鑑賞とは 講師：三ツ木紀英氏 (NPO法人芸術資源研究機構 代表理事) 対話型鑑賞の体験と理論 ／一人一回ファシリテーション実践 対話型鑑賞の考え方とその可能性について理解を深めます 日時：令和6年5月18日(土) 午後1時～6時 会場：鳥取県立美術館 スタジオ	4 「きく力」とは 講師：佐藤敬子氏 (ナラティブコミュニケーション教育研究所長) 感性という“美しい心”を翻訳する聴き方・伝え方 ～アクティブリスニングとパッシブリスニングを使いこなす～ コミュニケーションの基本となる「きく力」について学びます 日時：令和6年6月29日(土) 午後2時～4時 会場：鳥取県立博物館 講堂	5 ファシリテーションの実践 「MUSEUM START BUS」直前研修 小学生の来館に向けて、ファシリテーションの準備をします。 【企画展】 「アートってなに？ ～ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみ」 日時：令和6年6月30日(日) 午前10時～11時30分 会場：企画展会場他
---	---	--	---	---

◎全ての研修は、予定のため変更する場合があります。各研修の時間や会場等は、鳥取県立美術館ウェブサイトやSNS等でご確認ください。
◎令和6年度のバス招待事業による小学生の団体来館日は、7月1日～12日のうちの平日数日を予定しています。

年間スケジュール

現登録者	令和5年度	登録の更新(継続の意思確認)					令和6年度(令和5年度と同じ研修を実施)	年度後期は、開館準備ため研修や普及事業を休止いたします。	令和7年3月30日(日) 鳥取県立美術館 オープン!	令和7年度 小学生を対象とした対話型鑑賞のファシリテーション	
	4月	6月	8月	9月	10月	12月	4月				5月
	1	2	3	4	5①	5②	1	2・3	4・5		